

市長講演資料

市長を囲む文化懇談会

令和5年2月6日(月)

世界にエールを送るまち・ふくしまを目指して

住み続けたいまち

デジタル化	安全・安心	女性活躍
	子育て・教育	
	産業振興	
	賑わい・文化	

移住・定住拡大

関係人口拡大

関わりたいまち



◇文化振興条例の制定(令和5年1月1日施行)

福島らしさにこだわった本市独自の特徴！

福島市文化振興条例 3つのポイント

1 福島市らしい文化の継承と持続的発展のための道しるべ！

- ・文化振興のための基本理念と、市や市民などのそれぞれの役割を記載。
- ・文化施策を総合的かつ計画的に推進し、福島市らしい特色ある文化の継承と持続的な発展のための道しるべ。

2 福島市らしい条例を目指して！

- ・福島市を知らない方にも本市らしさが伝わる内容とするため、前文に地勢や成り立ち、時代背景、特色ある文化などを具体的に記載。これまでの文化行政を顧みたま反省・課題に立った今後の文化振興の決意を記載。
- ・本市らしい特色ある文化振興につながるよう特に意を用いなければならない旨規定
- ・より幅広い文化振興施策を推進するため、「文化振興基金」を創設。

3 文化以外の分野における各施策との相乗効果！

- ・文化の振興だけではなく、地域社会や観光、まちづくり、教育など、各分野の施策を推進していく中にも、文化の要素を取り入れ文化振興と相乗効果を発揮。



◇古関裕而のまち・ふくしまシンフォニー

第一楽章 古関裕而に触れ、親しむ

1. 古関裕而記念館のリニューアル、
大型駐車場整備、
HPリニューアル



古関裕而記念館

記念館公式ホームページ

2. 身近なところで古関メロディーを
～市役所電話保留音、ノー残業デーメロディー、
JR発車メロディー、新年市民交歓会等



3. 「マンガで読む古関裕而」

【古関裕而×ふくしま】データダウンロードはこちら

: <http://www.city.fukushima.fukushima.jp/bunka-shinkou/manga.html>

4. 古関氏作曲校歌の音源収集、古関氏関連のエピソード収集



◇古関裕而のまち・ふくしまシンフォニー

第二楽章 「古関裕而のまち・ふくしま」のまちづくり

1. オリジナルロゴの作成、
ロゴのポスター・土産品等への活用



ロゴ

2. 古関裕而ストリート、
デザインマンホール、
階段でのデザインアート



デザインマンホール



駅前階段デザインアート



古関裕而ストリート

3. まちなかで古関メロディーを

- ①メロディーバス運行、
メロディーボックス、
ARスポット、
パセオ通りカリヨン時計塔 など。



メロディーバス



メロディーボックス

- ②各種イベントでの古関メロディーの活用
例:「まちなかテーマパーク」キッズロードトレイン

～「高原列車」のメロディーで走行

◇古関裕而のまち・ふくしまシンフォニー

第二楽章 「古関裕而のまち・ふくしま」のまちづくり

4. 「古関裕而のまち」の動画や ゆかりの地マップの作成



ゆかりの地マップ

5. エールレガシーの活用

①ドラマセットの活用
(喫茶バンブーなど)



②被災3件朝ドラ連携おかえりプロジェクト
東京有楽町に情報ステーション「おかえり館」開設(R3.7)
～観光PR、産品販売、移住案内の拠点

③ロケ地、まち歩きマップ



④SNSやWEBを活かした
デジタルプロモーション



おかえり館

ロケ地マップ

第三楽章 古関レガシーを活かした新たな文化・観光振興

◆古関裕而のレガシー活用

1. 「古関裕而作曲コンクール」の創設 (R4.11.27本選 優勝作品決定)

- ・将来の作曲家を目指す若者の育成と、世界へ羽ばたく機会の創出。
- ・優勝作品を活用。



2. 古関裕而記念音楽祭、生誕記念コンサート、まちなか音楽祭

- ・朝ドラ「エール」出演者やプロの演奏家を招いて開催
- ・まちなか音楽祭～音楽であふれるまちに



3. ふくしまチェンバー・オーケストラの創設(R3.10創設)

- ・ふくしまゆかりのプロオーケストラ！
- ・市民有志のサポーターズクラブ、文化振興基金での多額寄付受入れ



サポーターズクラブ会員募集中！

4. 古関裕而氏の野球殿堂入り

- ・特別企画展、応援歌ゆかりの記念試合など
- ・音楽文化振興やスポーツのまちづくりを一層推進



2023.1.13 殿堂入り達成！

祝 古関裕而氏 野球殿堂入り

特別展
～古関裕而と野球～



2023年1月28日(土)～3月31日(金)
(3月1日(水)は休館)
開催時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
場 所 福島市古関裕而記念館
料 金 一般:300円 小中学生:100円
※団体割引・障がい者免除あり

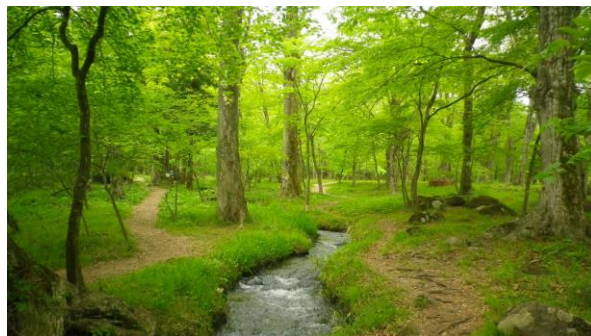
企画展開催中！



お祝い記念ロゴ

◆ロケツーリズムの推進

- ・ロケツーリズム推進会議、情熱ロケ応援隊@ふくしま
- ・ロケ誘致 R2年:10件、R3年:20件
- ・『連続テレビ小説「エール」×福島市』ロケーションジャパン大賞準グランプリ
- ・ロケ地マップ製作



水林自然林(朝ドラ「エール」オープニング)



文化活動の拠点となる施設を整備し、文化活動の機会を提供

◇写真美術館(花の写真館)の再生と活用

- ・リニューアルオープン(R3.5)
- ・秋山庄太郎の写真展、「展示室」「企画展示室」を備え一般利用も可能
- ・日本建築防災文化賞(耐震改修優秀建築賞)、福島県建築文化賞(復興賞)受賞



写真美術館

◇旧広瀬座の再整備と民家園の活用

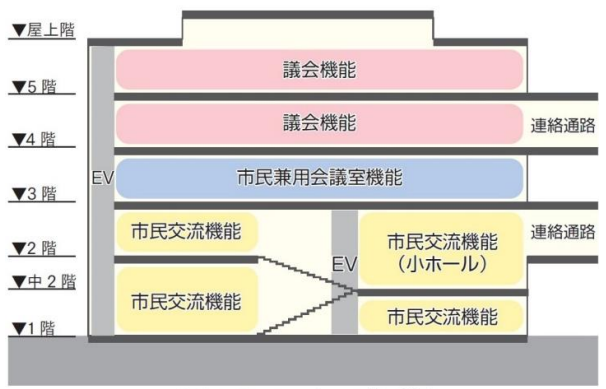
- ・旧広瀬座の再整備→多様な文化芸術活動に活用
- ・現存する10棟の文化財を保護・活用
- ・絹など伝統的な生活文化の再生と夜の民家園、ロケ地など新たな活用



旧広瀬座

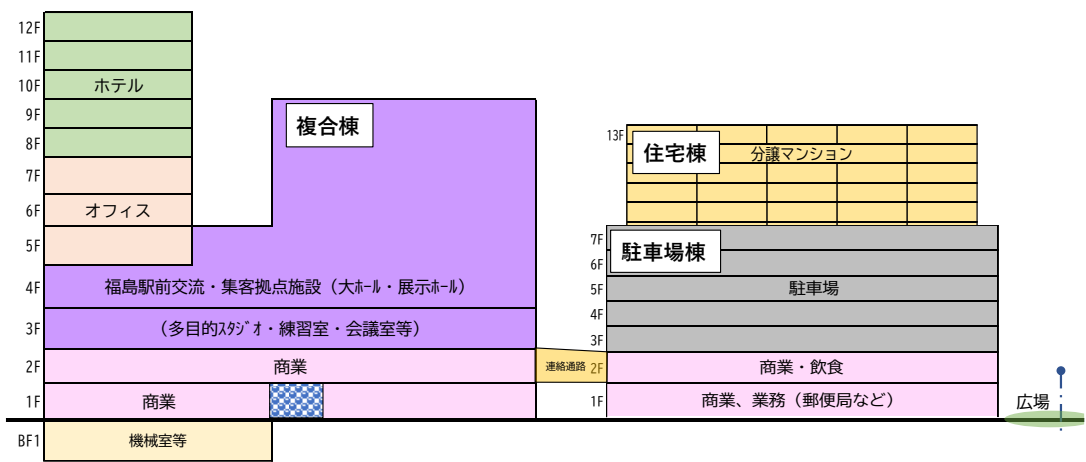
◇(仮称)市民センターの整備(R4.10着工、R6 供用開始)

- ・旧西棟構想に、中央学習センター、市民会館、敬老センターの機能を再編統合。
- ・防災機能も備えた多用途市民活動拠点。水素発電導入等でゼロカーボンも推進。



◇駅前交流・集客拠点施設(R8グランドオープン予定)

- ・駅前東口再開発事業～コンベンション施設（最大3,000人規模）、商業施設、ホテル、オフィス、マンション等を備えた定住交流の広域的拠点施設



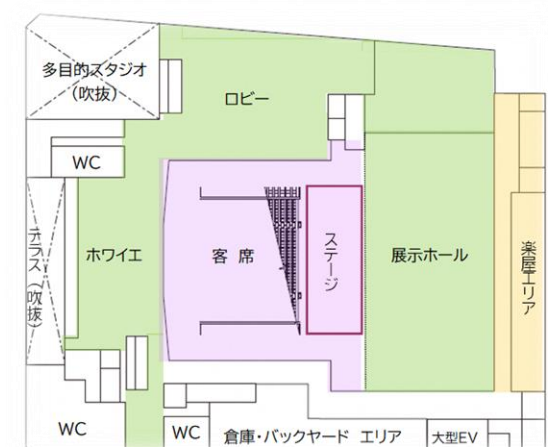
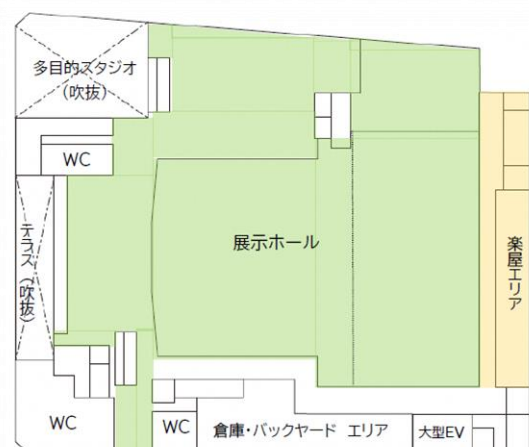
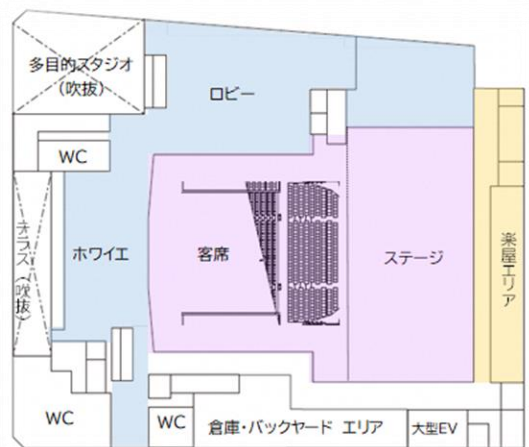
施設概要 4階：メインフロア～多様なニーズに可変性で対応できるホールを整備～

大ホール全面利用
(約1,500席)

展示ホール全面利用
(約3,000㎡)

大ホール・展示ホール併用
(約800席・約2,300㎡)

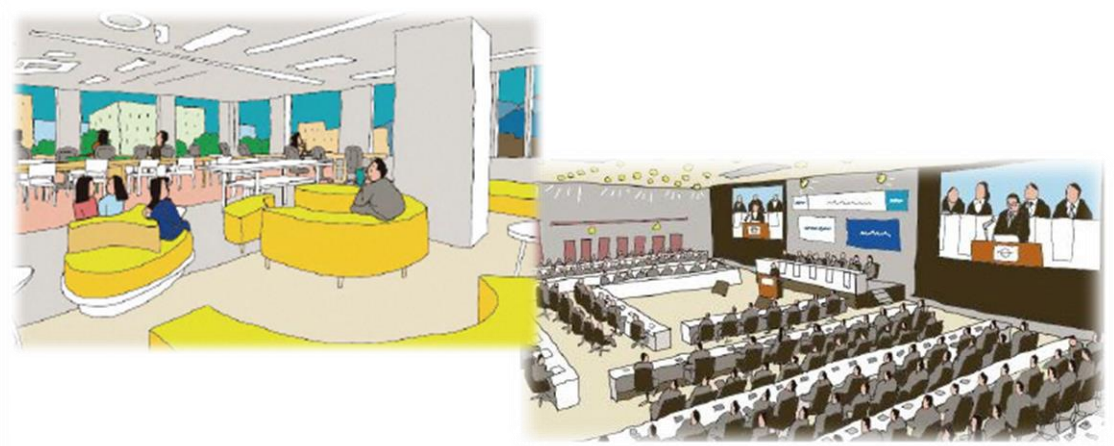
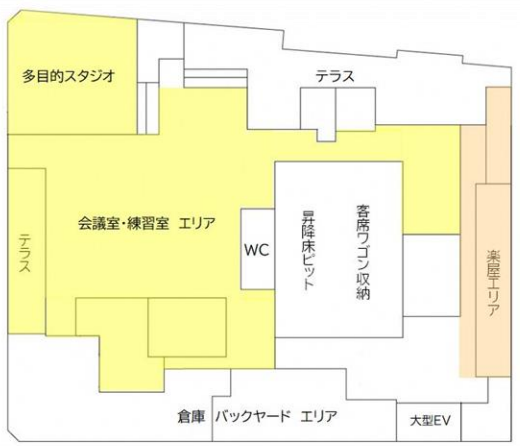
4階



使い方	令和4年5月 設計状況	令和2年3月 基本計画	比較	想定する主な用途
大ホール	1,500席程度 参考：県文化センター 1,752席	1,500席程度	±0	<ul style="list-style-type: none"> 音楽・演劇・舞踊公演等のエンターテインメント 市民等による各種発表会 大会・式典・学術会議・国際会議
展示ホール (ホワイエ含)	3,000㎡程度 参考：あづま総合体育館 メインアリーナ 2,744㎡	1,500㎡程度	2倍	<ul style="list-style-type: none"> 展示会、見本市、イベント 企業・団体等の会議、研修
大ホール 展示ホール	800席程度 2,300㎡程度	1,500席程度 1,500㎡程度	減増	<ul style="list-style-type: none"> 学術会議（全体会、企業展示、ポスター展示棟）

施設概要 3階 ～会議室やスタジオ等の「多目的エリア」を整備～

3階



機能	令和4年5月 設計状況	令和2年3月 基本計画	比較	想定する主な用途
多目的スタジオ	300㎡程度	350～400㎡	同程度	<ul style="list-style-type: none"> 音楽・演劇・舞踊公演等のリハーサル 市民等による各種発表会 小規模な展示会、見本市、イベント 講演会 等
練習スタジオ	20～40㎡程度を2室	40㎡程度を2室程度	同程度	<ul style="list-style-type: none"> 市民等による音楽、ダンスの練習
会議室	大・中・小会議室	一部、民間バンクエットの会議室機能を活用	市が整備	<ul style="list-style-type: none"> 企業・団体等の会議・研修 大規模コンベンションの分科会場

◇縄文文化の保存と活用

1. じょーもぴあ宮畑としゃがむ土偶

- ①じょーもぴあ宮畑活用推進
校外学習に活用、地域との共創でイベント開催
- ②しゃがむ土偶ドキドキ事業
ファンクラブ「ぴ〜ぐ〜会」活動、
ドキドキ女子会、**まちかど博物館**、**商品開発**



ドキドキ女子会in飯坂



じょーもぴあ宮畑

2. 和台遺跡の保存活用

「縄文中期の交流拠点
～川と大地に包まれた縄文の風景を感じる～」 がテーマ



しゃがむ土偶

◇文化財等の保存と活用

1. 文化財の保護

- ・福島県沖地震で被害を受けた市指定有形文化財の修復支援。多重災害は支援分を嵩上げ。
- ・国登録文化財の修復にも多重災害特例

2. 登録文化財、古民家、土木遺産等を活用したまちづくり

- ・旧堀切邸、中村屋旅館、旧採進堂酒店、十綱橋などを活かしたレトロなまちづくり
- ・土木遺産を活用した観光
～荒川堰堤群、万世大路、福島 of 石橋群
- ・御倉邸を活用した地域振興



万世大路



地藏原堰堤

3. 吾妻五葉松・盆栽の活用

- ・特にインバウンド、コンベンションに

◇ふくぶん(福島らしい文化)の発信

文化事業のシンボルとして各広報媒体に活用、
Instagram開設、フォトラリーの開催
PR動画の作成、文化施設でイベント開催し魅力を発信



◇子どもたちが文化芸術マインドを高める機会の創出

- ・子どもたちが文化芸術に触れる機会、発表する機会の確保(駅前地下歩道の活用など)
- ・一流芸術家による指導、クラブ活動の地域移行等により、子どもたちの文化芸術志向を伸長する機会の提供

◇若者文化や新興文化の受入れ

- ・コスプレなどのサブカルチャー、
デジタルを活用したクリエイティブな文化の振興



街コス

◇日常の一部に文化を

- ・まちの日常に文化を～ストリートピアノ設置、花のまちづくりや生け花展示、街なかの彫刻
- ・行事の一部に文化を～アトラクションなどで導入、誘致コンベンションでの提供
- ・辛いときこそ文化を～コロナ禍の文化活動支援、避難生活で文化を楽しむ機会



駅前地下歩道ストリートピアノ



駅前の花時計



メロディーバス